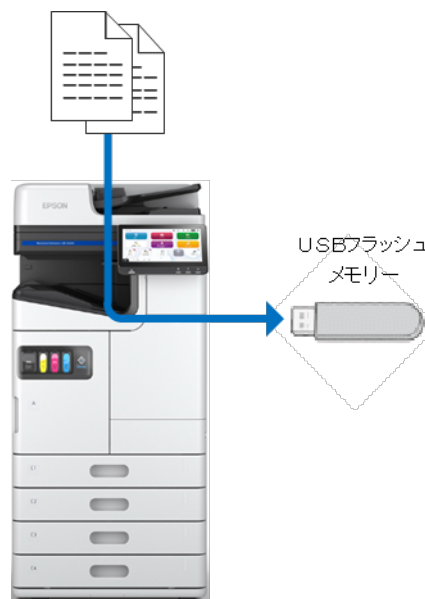


スキャン to 外部メモリー機能

スキャンした画像を外部メモリーに保存できます。
装置がネットワークに接続されていなくても利用することができます。

本資料は、ユーザーズガイドの「原稿をスキャンして外部メモリーに保存する」機能の補足説明資料です。

プリンターごとにスキャンの仕様は異なりますので、プリンター固有の仕様（スキャン設定メニューなど）については、各プリンターのユーザーズガイドを参照してください。



目次

目次	1
1. 事前準備・設定	2
2. 使い方	3
2.1. スキャン to 外部メモリー機能の操作方法	3
2.2. [スキャン設定]のメニュー	5

・本資料は、LM-C6000 を使用した場合の画面例を掲載しています。

1. 事前準備・設定

スキャン to 外部メモリー機能を利用するには、外部メモリーを用意するだけで、事前準備・設定は不要です。


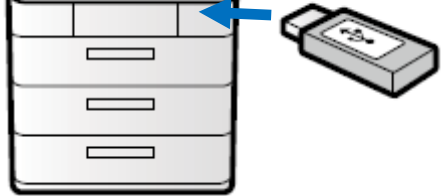


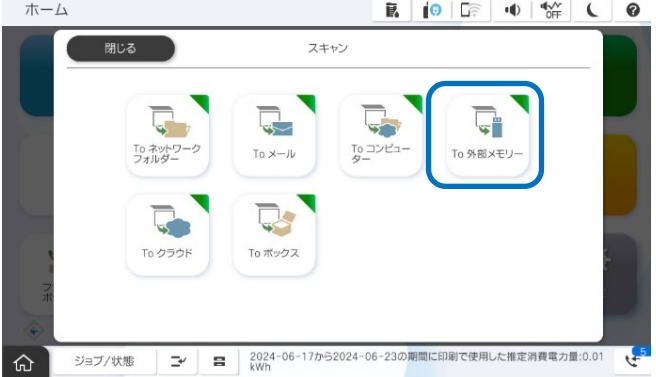
利用できる外部メモリーは下記のとおりです。


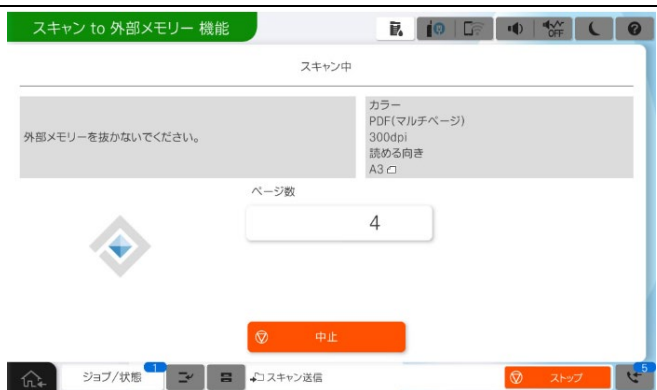
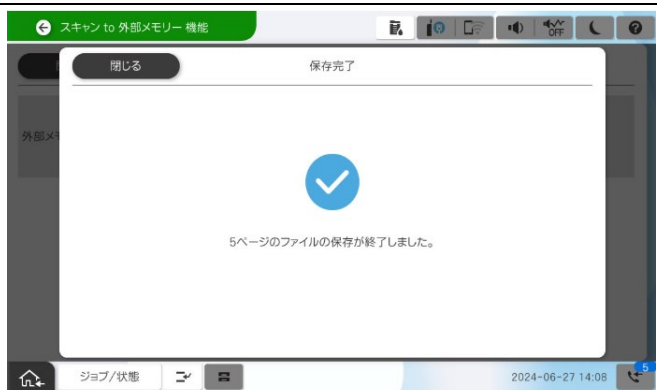
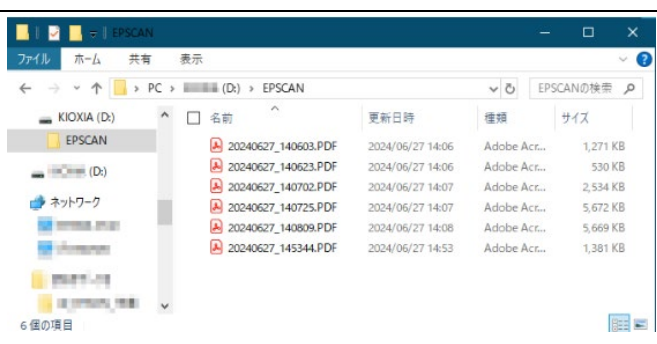
対応外部メモリーの仕様

外部メモリーの種類	USB フラッシュメモリー
サポートする最大容量	2 TB (FAT / FAT32 / exFAT フォーマット済のもの。 ※NTFS は使用できません。)
注意点	以下のメモリーは使用できません。 ・専用のドライバーが必要なもの ・セキュリティー（パスワード、暗号化）機能付きのもの ・USB ハブ、USB 接続のメモリーカードリーダー これら以外でも、市販されているすべての USB フラッシュメモリーで動作を保証するものではありません。

2. 使い方

2.1. スキャン to 外部メモリー機能の操作方法

1	原稿をセットします。	
2	プリンターに外部メモリーをセットします。	
	プリンターが外部メモリーを認識すると、「外部メモリーが認識されました。」と表示します。	
3	「ホーム」画面で[スキャン]を選択します。	
4	「スキャン」画面で[To 外部メモリー]を選択します。	

<p>5</p> <p>スキャン設定をします。 カラー/モノクロ、ファイル形式、解像度などの設定を確認し、必要に応じて変更します。</p> <p>設定変更が終わったら、[保存]をタップします。</p> <p>【参考】 初期値から変更すると●マークが表示されます。</p>		
<p>6</p> <p>スキャンが開始されます。</p> <p>【注意】 スキャンデータの外部メモリーへの保存が始まると、「データ」ランプが点滅します。「データ」ランプが点滅中は、外部メモリーを抜かないでください。</p>		
<p>7</p> <p>スキャンが完了すると、「xページのファイル保存が終了しました」の保存完了メッセージが表示されます。</p> <p>「データ」ランプが点滅していないことを確認してから、外部メモリーを抜き取ります。</p>		
<p>8</p> <p>外部メモリー内に「¥EPSCAN」フォルダーが作成され、フォルダー内に、「日付_時刻.PDF」ファイルが作成されます。</p> <p>【補足】 ファイル形式、ファイル名形式は、[スキャン設定]にて、変更することができます。</p>		

(注) : Adobe PDF logo は、Adobe Inc .の登録商標または商標です。

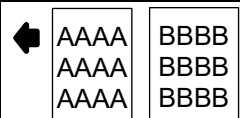
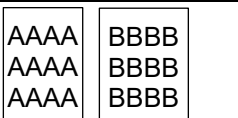

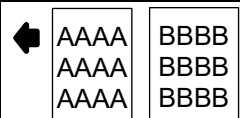
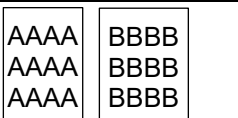

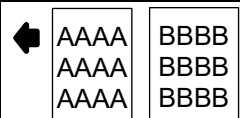
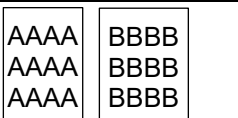

2.2. [スキャン設定]のメニュー


LM-C6000 のスキャン to 外部メモリー機能のスキャン設定メニューについて記載しています。太字は初期値です。

初期値は、変更することができます。[設定]>[ユーザー設定]>[スキャン to 外部メモリー機能]

プリンターによってメニュー項目は一部異なるため、プリンター固有のメニュー項目については各プリンターのユーザーガイドを参照ください。

読み取り設定

カラーモード	カラー / モノクロ												
ファイル形式	ファイル形式 = JPEG / TIFF / PDF / 高圧縮 PDF / PDF/A / 高圧縮 PDF/A												
	ページ設定 = シングルページ / マルチページ												
	圧縮率 = 高圧縮 / 標準圧縮 / 低圧縮												
	セキュリティ設定 = PDF 設定 文書を開くパスワード/権限パスワード												
	OCR 設定 = オフ / オン (有償ソリューションオプション 有効化していない場合はグレイアウト) 言語 = アラビア語 /~/ 英語 /~/ 日本語 /~/ ウクライナ語 / ベトナム語 ページ向き = 自動正立 / 原稿セット方向に従う												
解像度	200dpi / 300dpi / 600dpi												
両面設定	片面 / 両面												
	原稿セット報告 = 読める向き / 左向き												
	開き報告(原稿) = 左右開き / 上下開き												
原稿読み取り	定型サイズ / ユーザー定義サイズ												
	読み取りサイズ = 自動検知 / A4 横 / A4 縦 / A5 横 / A5 縦 / A3 横 / B5 横 / B5 縦 / B4 横 / A6 横 / A6 縦 / B6 横 / B6 縦 / Letter 横 / Letter 縦 / Half Letter 横 / Half Letter 縦 / Legal 横 / Executive 横 / Executive 縦 / 11x17in 横 / 角型 2 号封筒横 / 角型 20 号封筒横 / 長形 3 号封筒横 / 長形 4 号封筒横 / 洋形 0 号封筒横 / 洋形 1 号封筒横 / 洋形 2 号封筒横 / 洋形 3 号封筒横 / 洋形 4 号封筒横 / 洋形 6 号封筒横 / Envelope# 10 / Envelope DL / ハガキ横 / ハガキ縦 / 往復ハガキ縦 / 四面連刷ハガキ横 / 六切横 / 六切縦 / 最大範囲 原稿セット方向 = 読める向き(上向き) / 左向き												
原稿種類	文字 / 文字・写真 / 写真												
原稿セット方向	読める向き(上向き) / 左向き												
	・原稿を ADF に読める向きにセット、原稿セット方向 = 読める向き ⇒ そのままの向きで PDF ファイルが生成されます。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>原稿を ADF にセット</th> <th>「原稿セット方向」の設定</th> <th>生成 PDF ファイル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>縦向き原稿</td> <td>  </td> <td>「読める向き(上向き)」 そのままの向きで生成 →</td> <td>  </td> </tr> <tr> <td>横向き原稿</td> <td>  </td> <td>そのままの向きで生成 →</td> <td>  </td> </tr> </tbody> </table>		原稿を ADF にセット	「原稿セット方向」の設定	生成 PDF ファイル	縦向き原稿		「読める向き(上向き)」 そのままの向きで生成 →		横向き原稿		そのままの向きで生成 →	
		原稿を ADF にセット	「原稿セット方向」の設定	生成 PDF ファイル									
縦向き原稿		「読める向き(上向き)」 そのままの向きで生成 →											
横向き原稿		そのままの向きで生成 →											
・原稿を ADF に左向きにセット、原稿セット方向 = 左向き ⇒ 右に 90 度回転した PDF が生成されます。													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>原稿を ADF にセット</th> <th>「原稿セット方向」の設定</th> <th>生成 PDF ファイル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>縦向き原稿</td> <td>  </td> <td>「左向き」 右 90 度回転して生成 ↻</td> <td>  </td> </tr> </tbody> </table>		原稿を ADF にセット	「原稿セット方向」の設定	生成 PDF ファイル	縦向き原稿		「左向き」 右 90 度回転して生成 ↻						
	原稿を ADF にセット	「原稿セット方向」の設定	生成 PDF ファイル										
縦向き原稿		「左向き」 右 90 度回転して生成 ↻											
※OCR オプションの「ページ向き = 自動正立」機能を使用すると、各原稿の向きを自動的に読み取り、正しい向きに変更して PDF ファイルを生成します。													

原稿サイズ混載	<p>オフ / オン</p> <p>用紙の幅が同じ(A3とA4 縦、B4とB5 縦、A4 横とA5 縦)原稿は、混在させて ADF にセットできます。 原稿サイズ混載 = オフだと、大きい方のサイズでスキャンされます。 原稿サイズ混載 = オンだと、それぞれのサイズでスキャンされます。</p> 
濃度	-4 ~ 0 ~ +4
背景除去	<p>自動 = オフ / オン</p> <p>背景除去 = -4 ~ 0 ~ +4 (自動 = オフ時に有効)</p>
影消し	オフ / オン
パンチ穴消し	オフ / オン
白色ページスキップ	<p>オフ / オン</p> <p>白色検知レベル = 1 ~ 10 ~ 30</p>
ADF 連続読込	<p>オフ / オン</p> <p>オンにしておくと、ADF の原稿のスキャン完了後に「次原稿をセット+スキャン開始」または「次原稿なし+送信開始」を選択できます。「大量の原稿を複数回に分けて(継ぎ足して)スキャンしたい場合に利用します。</p>
ボックス保存	<p>オフ / オン</p> <p>動作設定 = ボックス保存のみ / ボックス保存と外部メモリー保存</p> <p>保存先ボックス、文書名、文書パスワード、ユーザー名</p>
赤色消去	オフ / オン (有償ソリューションオプション 有効化していない場合はグレイアウト)

※ADF = オートドキュメントフィーダー

ファイル設定

ファイル名	<p>ファイルヘッダー</p> <p>ファイル名のヘッダーとして最大 32 文字まで付与できます。全角日本語文字も指定可能ですが、保存先フォルダーの仕様 (NAS など) によっては半角英数字しか受け付けられない場合があります。そのため、付与する際は半角英数字をお勧めします。</p>
	日付を入れる = オフ / オン
	時刻を入れる = オフ / オン
	<p>ファイル名サンプル</p> <p>(ファイルヘッダー)yyyymmdd_hhmmss</p> <p>例)</p> <p>scandata20240630_144122</p>